



# みなみ 園だより 10がつ

令和5年10月2日  
目黒区立南保育園園長

真っ青な大きな秋空のもと、とんぼが飛び回りさわやかな風が吹き抜け、戸外遊びが充実する季節となりました。

今まで声をかけても恥ずかしくて担任の背中に隠れてしまう4歳児クラスの男児がいたのですが、つい最近のこと事務所で仕事をしていると「園長先生、天狗下駄ひとりのできるようになったんだよ」とたった一人で事務所にやってきて、大きな声で教えてくれました。最近いろいろなことに取り組む楽しさを感じ、自信がついてきているなどは思っていたのですが、思っていた以上の心の成長に驚き、とても嬉しく思いました。子ども一人ひとりの今の姿に対して職員は「今は見守るときかな」「今こそ背中を押す時かな」などに見極め、関わっています。

新型コロナウイルスが第5類になったことを受け、今年度の運動会は2歳児クラスからの参加、0、1歳児クラスも自由参加となり、盛大となることでしょう。お互いのがんばる姿を応援しあい、この経験が次への力となることを今から楽しみにしています。

## 今月の行事予定



0歳児健診  
内科健診（全クラス）  
運動会  
芋ほり遠足  
（4・5歳児クラス）  
幼児お楽しみ会  
（3・4・5歳児クラス）  
身体計測 避難訓練（全クラス）

前庭のミカンの木に緑色の実がなっていました。

子ども「ミカンの日に食べるんだよ」  
保育士「みかんの日って、いつなのかな」  
子ども「みっか」

子どものつぶやき  
（4歳児クラス）

## 異年齢のかかわり（副園長）

0歳児クラスの子どもと1階の幼児クラスへ園内散歩に行きました。よちよちと歩く姿に「どこへ行くの」「なんていう名前なの」「何組なのかな」と幼児クラスの子どもたちが廊下に出てきて声をかけてくれます。部屋の中に少し入ると、次々と子どもたちがそばへ来ます。0歳の子が手を伸ばすとその手を見て「ちっちゃい手だよ」「ほっぺたもかわいいよ」とそっと触っています。自分たちがママごとで作ったごちそうを持ってきてくれたり、自分で作った工作を見せてくれる子もいました。初めは緊張していた表情の0歳児の子も帰るころにはバイバイと笑顔で手を振っていました。

コロナ禍ではなかなか異年齢で関わるのがなかったのですが、異年齢の関わりを持てるのが保育園の良さでもあります。園庭などで保育士が心がけていきながら、日常的に自然な関わりがもてるようにしていきたいと思います。





今月は0・1歳児クラスの運動遊びの様子を紹介します。

### 【0歳児 ありんこ組】

部屋でも子どもたちがやりたいときに運動遊びができるよう遊具を設定し、空間を作っています。巧技台を斜面と階段を組み合わせて山にし、歩いたり這ったりして上り下りができるようにしています。歩いて上るのに体がぐらつくと手をついて這って上るなど自分でバランスをとっています。上まで上れた時「できたね、高いね」と保育士が拍手すると誇らしげに笑って手を振ってくれます。

また、手作りの四角い枠を並べたものでは、何ヶ所か重ねて高くなったところになると、枠のへりに手をかけてヨイショと足をあげてまたぎ、足が引っかかりそうになると足を引っ込めまた出して、とまたげるまで挑戦します。上手くまたげ枠の中に入ると座ってひと休みしながら「うまかったぞ」というようにニマリ笑っています。どちらの設定もどうすれば危ないか、どうすればまたいだけり上れるかを子どもたちは自分で考えて試し、体の動かし方を自然に学んでいるようです。これからも、子どもがやってみようとする遊び方ができるよう成長の姿を見ながら設定を工夫し、楽しみながら体の使い方を学んでいけるようにしたいと思います。



### 【1歳児 てんとうむし組】

牛乳パックで作ったパック車は、組み合わせ方によって違った楽しみ方が出来るので、子どもたちが室内で身体を動かして遊ぶ時に大人気です。1人がまたがりながら、乗り物に見立てて進みはじめると、見ていた友達も続々と真似をしています。最近では、ドーナツリングをハンドルに見立て「ブー」と言いながらパック車をまたぎ、保育士に手を振って出かける姿もあります。保育士が「行ってらっしゃい」と声をかけて手を振り返すととても嬉しそうです。また、逆さにしたパック車にカップやペットボトルを乗せて押して進む子もいます。両手で押しながら上に乗せた物が倒れないようにバランスを取り保育士の側まで運んできてくれます。「どうぞ」とデリバリーのように保育士にカップを渡してくれるので「ありがとう」と言い飲むとまたパック車を押しながら、ままごとコーナーでおかわりを作り何度も持ってきてくれました。

パック車はまたいで進むときには足の指で床をけりながら身体のバランスをとらないと進めません。押して進むときにも両手の力のバランスや押す力を加減しながら進んでいます。好きな遊びをする中で自然に身体の発達が促せるように、様々な遊具や設定を用意していきたいと思っています。

